

Rotary  あすかロータリークラブ
Asuka Rotary Club Weekly Bulletin

RI 会長 : K. R. "Ravi" Ravindran

地区ガバナー : 中澤 忠嗣

会長 : 澤 光彦 エレクト : 吉川 隆博

副会長 : 松中 久 幹事 : 森下 秀城

クラブ会報委員長 : 富士川拓也

Vol. 25 No. 32 (No. 1179) 2016 年 2 月 25 日発行

前回のニコニコ ¥35,000	全期会費預かり分 ¥1,665,000	今年度累計 ¥2,741,500
--------------------	------------------------	---------------------



春よ来い♪ は～やく来い♪ 於:明日香村 撮影者:井上重行

第 1178 回 2016 年 2 月 25 日 (木)

- 1 開会点鐘
- 2 ソング「我等の生業」
- 3 お客様紹介
- 4 会食
- 5 会長報告
- 6 幹事報告
- 7 出席報告
- 8 ニコニコ報告
- 9 委員会報告
- 10 本日の卓話 「ポリオプラスについて」
地区ポリオプラス委員 久保真須夫会員
- 11 閉会点鐘

1178 回報告 2016 年 2 月 18 日 (木)

於: 榎原ロイヤルホテル

ソング

「四つのテスト」

ソングリーダー 岩井 常二君

出席報告

	全会員	免除者	出席者	MU	出席率%
第 1178 回	54	24	39 (15)	1	91. 11
第 1176 回	54	24	40 (18)	7	100

ニコニコ

- 浅田 昌彦君 本日、次年度理事会ご苦労様でございました。皆様、ご協力の程よろしくお願い致します。
- 澤 光彦君 結婚記念日の花束ありがとうございます。
- 中川 基成君 結婚祝いの花束ありがとうございます。
- 鍵谷 安利君 結婚記念日の花束ありがとうございます。今年の記念日は、しっかりと日頃の罪滅ぼしをしてまいりました。

会長挨拶

○私は、かねてより患っていた白内障の治療の為、2月5日と15日に野島先生の紹介で新進会眼科で手術を受けてきました。白内障は、目の中の水晶体が濁り、目の奥に光が届くのを遮断するため見えにくくなるのが特徴です。私も視力は 0.7 以下でした。ですが、術後、両目とも 1.2 に回復しました。手術をして最初に妻の顔のしわがどの様に映るか心配したのですが杞憂に終わりました(?)目を開けてみると見えるもの全てがクリアではっきりと見え、世の中が明るく映り姿勢も良くなり、文字を書くのも綺麗になって、階段でもトントンと歩ける様になり本当にうれしい限りです。よく見る様になれば心も明るくなります。皆さんもこのような症状で悩んでいる方は、ぜひ野島先生にご相談されたらいいと思います。手術、大成功!!

幹事報告

- 地区社会奉仕委員会について
- 県下第 2 グループ「音楽を楽しむ会」について

副幹事報告

- 次年度理事会報告
審議事項
①委員会構成表について
②年間予定表について

○財団セミナーについて

委員会報告

○親睦・ロータリー家族委員会 米田委員長



2 月のお誕生日

6 日 和田会員

14 日 吉田(勝)会員

次回の例会

「ひな祭り例会」

あすか RC&チーム ASUKA 於: 榎原ロイヤルホテル

4 つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

「深く国家観を考えるととき」



戸田 守亮様

皆さんこんにちは。今日は皆さん十分ご理解していらっしゃると思いますが、世界の状況を踏まえますと日本国家の認識が、一方では高まりまた一方では薄れていっているのではないかと感じます。特に若い世代の方々に非常に薄れていっているか感じております。

今回も万葉集から舒明天皇の歌われた詩をご披露します。

大和には 群山あれど とりよろふ 天の香久山
登り立ち 国見をすれば 国原は 煙立ち立つ
海原は 鷗(かまめ) 立ち立つ うまし国ぞ
蜻蛉島(あきづしま) 大和の国は
(巻1-22 舒明 天皇)

大和の国には沢山の山があるが、特に良い天野香久山に登って国を見渡せば、国原には煙があちこち立ち上がっているし、海には鷗が飛んで交わっている。本当に良い国だ蜻蛉島の大和の国は。

この歌に歌われているように、国に対する美意識が1300年も昔から天皇自身が認識されておられたのが分かると思います。

まだまだ寒い時期ですが、これから梅の花が咲きつつありますね。昔も白梅・紅梅が大変美しいと歌った詩が沢山ございます。その一つに

梅の花 咲散る園に 我れ行かむ 君が使を
片待ちがてり (万葉集 18-4041 田辺史福磨)

梅の花が咲いて散る園に私はまいりましょう。あなたからの使いを待ちかねています。

二人はたぶん恋人たちだったのでしょね。今も梅の花を美しいと感じる方は多いと思います。この歌が歌われた当ても梅の花は非常に美しいものとして捉えられておりました。

では次に、「論理を尽くす」ということにふれていきたいと思ひます。現在は戦後70年が経ち、論理というもののが最優先になってきていると感じます。いつの物事を解決する時や、一つの物事を進めてくるときには、必ず相手がいると思ひます。その相手と自分とで論理を交わすこととなるでしょう。事業に対する論理、家族や友だちに対する論理、国際的や政治に対する論理などです。しかし数学者の方々は「数学でさえ論理では解決できないことが多くある」とおっしゃっておられます。私の論理が正しいのだと主張しても、受ける側に

は違う論理があります。ですから論理というもののは100%解決に向かうものではないという事になります。国際事情、経済事情、または男女の関係など全て論理で片付けることは難しい事であろうと思ひます。こういうことを前提とすると国際問題を考えるのは難しい事だと思ひます。今現在も国際間で日本が誹謗されていることもあります、日本の国として強く言うべきことは言っていかなければならないと思ひます。

本日は、「我が国の良さを認識すること」についてお話をさせていただきます。まず、我が国の一番の良さは「美の存在」です。日本列島は約3000km。山に行けば山の幸、海に行けば海の幸が豊富にある。このような国は世界でも数少ないのではないのでしょうか。昔の人々が何千年も育んできたお陰で、私たちの住む美しい国がある事を感謝し大切にしなければならぬと思ひます。また、この美しさから日本の芸術、芸能、文学などが生まれてきました。万葉集もその一つです。私たちも現在の文化の流れの中で日本の美というものをしっかりと失わずに今を生きていくべきだと考えます。

次に「何かに跪く心」についてお話しします。さて、皆さんは神社仏閣がどのくらいあるかご存知ですか。神社は約80,000、お寺は約75,000ございます。日本の伝統の中にこれだけの神社仏閣があります。その神社仏閣に私たちは抵抗なく跪けるといふか尊敬の念を持っています。神社に国の安泰を願ひ、お寺に先祖を敬う、この文化の中で日本人は育ってきているのです。この跪くという文化を非常に大切にしてきたという事は日本の民族の良さではないのでしょうか。

最後に「精神性を尊む風土」についてお話しします。日本人は特に精神性を尊む民族です。それは何によって裏付けられるかといひますと、万葉集・民話・徒然草や短歌・俳句・川柳などを読みといていただくと分かるのではないのでしょうか。今でも、俳句や短歌などを嗜む方は沢山いらっしゃいます。私の知り合いも旅行に行く時など沢山のメモを取って俳句のネタにしております。このように富士山を見た時の心境を短歌にしたり、川の流れを見てきれいだと思ひ俳句、そういう現在も失われていない文学を大切にしていけばいいと思ひます。

国際ロータリー第2650地区第2グループ主催
音楽を楽しむ会
2016年2月21日 於：橿原文化会館大ホール

